

遺伝性腫瘍セミナー

「がんクリニカルシーケンス時代に求められるものとは!?!」

日時：2018年2月12日（月・祝）9:00～18:30 場所：北野病院きたのホール

参加費：10,000円 定員：90名（事前申し込み制、先着順）

問合せ先：北野病院遺伝性疾患サポートチーム

申込：[申込書をk-ooseto@kitano-hp.or.jp](mailto:k-ooseto@kitano-hp.or.jp)へ添付してお送り頂くか

FAX（06-6361-0588）までお送りください

がんクリニカルシーケンスとはがん細胞の遺伝子変異の解析から個人のがんの特性を把握し、臨床に応用する仕組みです。具体的には、次世代シーケンサーを用いたゲノム解析を医療現場で用い、患者ごと、細胞ごとのゲノム変異を明らかにし、その結果に即して医療を行います。

しかし、解析ではがん細胞の情報だけではなく生殖細胞系列の変異が見つかることもあり（二次的所見）その対応を考えていく必要があります。解析をするだけでなく出口を用意できる医療の提供が必要になります。

今回のセミナーでは全てにおいて答えの出ている課題ばかりではありません。答えがなくまだ模索段階の課題も何が問題で何を解決しなくていけないのかを共有するセミナーとしたいと考えています。二次的所見で認められる遺伝性腫瘍特有の問題なども含めセミナーの課題といたしました。

主催：北野病院遺伝性疾患サポートチーム

共催：アストラゼネカ株式会社、エーザイ株式会社、中外製薬株式会社

（五十音順）